

旭川医大通信（近況報告）

西越 崇博

こんにちは、西越です。大変長らくご無沙汰しております。誰だ！お前、という方も多数いらっしゃるかと思います。

私は3年前の8月までマネジメントサービスで5年5ヵ月働かせて頂いた獣医です。訳あって現在は旭川医大の5年生という立場です。医学部に来て3年、国家試験まであと1年半となり、研修先や将来像について現在の自分の考えを別海の皆様に報告しようと考えました。またこの場をお借りして、近況報告をさせていただきたいと思っております。従いまして、これより下の駄文には、皆様にとって有益なことは一切書かれておりませんが、懐かしいな、という方は一読下さいますと幸いです。

私は本年2月から医大あるいは近隣の病院でポリクリと呼ばれる病院実習をしています。実際病院に出て、先生の指導のもと患者を担当したり、診療見学したり、治療行為を手伝ったりの毎日です。手術の助手などもさせてもらいます。人を手術するにはこれほどまでの知識と技術が必要かと思知らされます。でも、自分でも今すぐやれるなあ、と思う手術があるのも確かです。そんなわけで、毎日多くの刺激を受けて、それなりに勉強もしているわけです。このポリクリというものが来年の9月まで続き、そのあとは半年間、国家試験に向けて勉強しまくるだけとなります。現行の医師研修制度では新卒医師は2年間の初期研修を行います。これは、将来の専門分野に関わらず複数の診療科を数ヵ月単位で研修するもので必須となっています。その後、専門分野を決めて3年間の後期研修を過ごすと、大抵の診療科では専門医試験の受験資格を得られますので、最短5年で晴れて専門医となるわけです。別に専門医の資格を取らなくても問題ないですが、取らないメリットもないので大抵は受験するみたいです。初期研修先の病院は来年の10月には決定するので、希望の病院を見学したり、意中の病院にアピールする作業がぼちぼち行われだしているのです。

私はいずれ別海、あるいは道東で医師として働きたいという考えを抱いていますが、それはある程度以上の力量を身につけてからのことと考えています。初期研修、後期研修は指導者、教育カリキュラム、症例数、患者数がある程度しっかりした病院でないと充実したものになりませんから、卒後すぐに別海だ中標津だということにはならないと思っています。最低5年、そのあと納得するまで研鑽できたら道東を目指そうと思っています。また、何科の医者になるか現在のところ決め切れていませんが現在一番興味があるのは消化器科です。田舎の診療所で一人働く姿を想像し、それが地域医療に貢献することだと考えていたので、消化器内科をベースにできたらいいと思い、歳も食っているのに、一人前になるのに経験と時間がかかる外科医は初めから選択肢に入れていませんでした。しかし、この春、初期研修先として候補に挙げている室蘭の病院に研修に行った際、そこの外科の先生に、「年齢を理由に外科医を目指さないということはない、本当にやりたいと思うことをやりなさい。10年やっても駄目な人は駄目だし、できるやつは1年2年で輝き出すから、おれが見極めてやる。」と言われました。並大抵でいえるセリフではないと思います。エリアの広い北海道ですから、地方病院の力量が高いことは、周辺に住む人々たちにとって、大きな助けになるはずで、たとえば道東のある病院で高難度の治療を普通に行えるなら、わざわざ札幌に通う必要もないわけで、数人の外科医でチームを作って病気を診るのも地域に貢献する医療だと思うようになりました。それで、この夏もう一度その先生に会いに行ってお話を伺ったと

ころ、本気でやる気があって5年間死ぬ気で頑張るなら、10年やってきたと同じだけの力量付けさせてやることはできると言われました。内科、外科どちらも魅力的で、どちらも地域に貢献できる医師像だと思います。結構悩んでいます。でも、人気の高い病院なので、希望を出してもはねられる可能性もありますからどうなるか分かりません。就職関係の話は1年後にならないと進展しないので、そのころにまたご報告します。やっぱ眼科ですよ、とか言ったらごめんなさい。

さて、一見真面目に勉学に励んでいるかのような文章が続き、私のキャラが変わったのでは？と思われたかも知れません。ちゃんと充実してます、私生活。そもそもマラソンやっておりましたが、旭川に来てから高額自転車を購入、トライアスロンに参戦しております。自転車で九州一周も行きました。しかし、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、昨年6月、クラブのバドミントン中にアキレス腱を断裂、手術を受け、半年間走れない状態でした。心折れましたがちゃんと復活しました。今年は別海マラソンも走りに行きます。私生活って運動だけか？と思ってもらっては困ります。妻にバイクの免許をとらせ、自分も大型にステップアップ、バイクを即金で購入（中古）、一緒に走ったりしています。結構面白くて学校行く前6時から8時までバイクで峠を走り、8時半から病院、終わったら自分の足で走る、酒を飲んで寝る、まれに気が向いたら勉強、みたいな日々を過ごしているのです。最近では寒くてバイクの部分が減ってきています。なんだか金回りが良いなと思われたかもしれません。現在の私達の生活費、学費、その他もろもろ全て、マネージメントサービスで頂いた給料の貯えを食い潰しています。会社から頂いたお金は全て酪農家の皆様が下さったものと考えています。ですから、今の生活を支えてくれる別海、酪農、THMSに集う方々への感謝の気持ちは、仕事を辞めてからの方が大きくなっています。もっと獣医として一生懸命やっておけばという後悔は、次の仕事への励みとして取っておきます。また面白いことがあったら、報告します。本当は一軒一軒皆様のお宅を回りたいのですが、叶いませんのですいません。

東川トライアスロンとZX-10R (Kawasaki 1000cc) の写真です。

